

# 埼玉県史料叢書第6巻（上）「入間・熊谷県史料一」

★平成20年4月から販売



改正入間県区画輿地図（明治5年）  
鈴木（庸）家 No.9196



## ●入間県・熊谷県とは？

県民の日11月14日は、明治4年（1871）、初めて埼玉県の名称が登場したことに由来していますが、現在の埼玉県域には、荒川以東の埼玉県と荒川以西の入間県の二県が設置されました。入間県域については、それ以前は旧大名領であった川越藩・県、前橋藩・県、旧幕府領等であった蕪山県、岩鼻県がありました。その後、明治6年6月、入間県と第1次群馬県が統合して熊谷県が成立。さらに、明治9年8月に熊谷県が廃止となり、元の入間県域と埼玉県域を統合して、ほぼ現在と同じ県域をもつ埼玉県が成立しました。

## ●「入間・熊谷県史料」とは？

埼玉県史料叢書（そうしょ）では、すでに「埼玉県史料」を刊行しましたが、これには入間県・熊谷県に関する史料は収録されていませんでした。そこで埼玉県成立過程の全容を把握するため、両県に関する史料を2巻4冊に分けて刊行するものです。

熊谷県の史料については、埼玉県史料叢書第7巻（上）、（下）で「入間・熊谷県史料三・四」を刊行しました。熊谷県の前身である入間県及びその入間県に統合される旧藩県時代の史料については、埼玉県史料叢書第6巻（上）、（下）で、「入間・熊谷県史料一・二」として刊行するものです。一では、川越藩（県）の布達と上申・指令・往復文書、入間県の上申・指令・往復文書と布告等を収録し、二には、入間県の布達と官員録及び戸長人名簿等を収録します。

## ●この本の内容は？

旧川越町図（入間県管内略図付図）  
小室家 No.4664



川越県の県印（印文：川越藩）  
埼玉県行政文書 明32

本巻では、太政類典・公文録（独立行政法人国立公文書館所蔵）、林家文書（当館収蔵）、松本家文書（川越市立博物館寄託）及び埼玉県行政文書（当館収蔵）等から収集した川越藩（県）・入間県関係の史料を、下記のように大別して収録しました。

■川越藩（県）布達集

明治元年～同4年11月の、入間県の前身である川越藩（県）時代の布達を編集しました。管下の村方名主文書の御用留等から、同藩（県）の布達等を抽出収集し、翻刻したものです。

- 1 林家文書・・・入間郡赤尾村（現坂戸市）の名主を代々勤めた林家に遺された御用記録から、明治2年3月～同4年11月に発給された布達等を編集しました。
- 2 松本家文書・・・入間郡古谷上村の名主を代々勤めた松本家に遺された御用留日記等から、明治2年8月～同4年11月に発給された布達等を編集しました。

■川越藩（県）上申・指令・往復文書

明治元年～同4年11月の川越藩（県）時代の、国や他県とのやりとりをまとめた文書を、埼玉県行政文書、国の公文書（太政類典・公文録）等から収集翻刻して、編年順に編集しました。

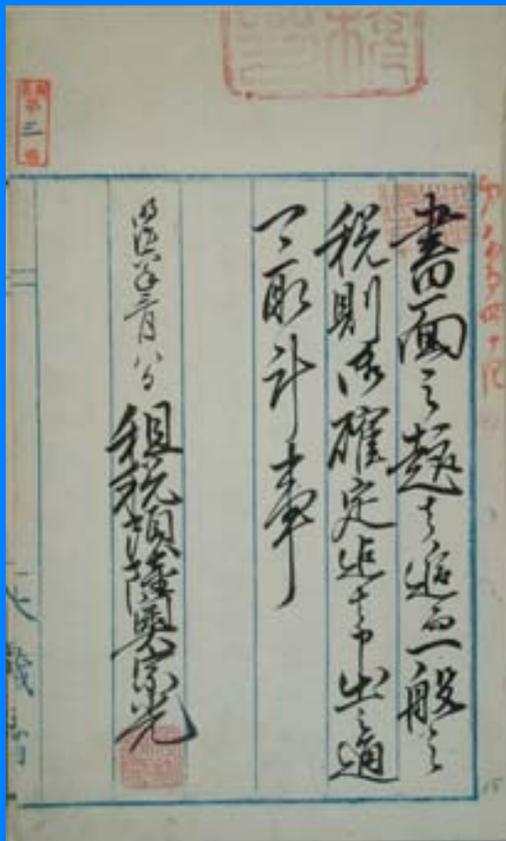
■入間県上申・指令・往復文書

明治4年11月～同6年6月の入間県時代の、国や他県とのやりとりをまとめた文書を、埼玉県行政文書、国の公文書（太政類典・公文録）等から収集翻刻して、各年別分類順に編集しました。

■入間県管下布告留

明治5年1月～11月に作成された入間県布告稟議文書（埼玉県行政文書）を原則として全文そのまま翻刻しました。

慶応四年の府藩県三治制以来、明治4年11月までの維新政府下の川越藩（県）時代、明治6年6月までの入間県時代の史料を収録しています。幕藩体制崩壊後の、維新政府による中央集権的な地方統治システム確立期という変革の時代の史料です。行政組織の再編、学制改革、通信・運輸、河川・道路、殖産興業、士族の秩禄処分等々、時代を反映した様々な関係史料が収録されています。また、文明開化政策のもとに、男女混浴禁止や断髪奨励など、人々の生活に関する興味深い史料も含まれています。



租税頭陸奥宗光指令書（入間県宛）  
埼玉県行政文書 明160

## ●本書の構成

- 口絵（4ページ）：本文に関連の深い貴重な写真を掲載しました。一部は本紹介に掲載。
- 凡例（5ページ）
- 目次（1ページ）
- 解説（37ページ）：収録史料に関する内容や時代背景等について、下記の項目を立てて解説しています。
  - 1 編集方針と構成
  - 2 中央集権化過程の地方統合機構の体制（川越県、蕪山県、岩鼻県、前橋県）
  - 3 旧藩県の史料
  - 4 入間県の概要
  - 5 入間県上申・指令・往復文書
  - 6 入間県管下布告留
- 本文（409ページ）
- 参考資料（62ページ）
  - 「旧藩県（川越・蕪山・岩鼻・前橋）布達一覧」
  - 「川越藩（県）上申・指令・往復文書一覧」本書に収録した川越藩（県）布達を代表として、蕪山県、岩鼻県前橋藩（県）の布達についても各管下村方文書から抽出一覧化しました。上申・指令・往復文書についても一覧を掲載しました。また、本書活用の便のために、掲載した史料の所には収録頁数を付記して、索引としても利用できるようにしました。
- あとがき